

2008 年度(平成 20 年度) 第 1 回理事会記録

日時：2008 年（平成 20 年）3 月 26 日（水）15：30～17:45

場所：大分大学医学部基礎臨床研究棟 1 F 会議室

参加者：柴田洋三郎（理事長）、牛木辰男、内山安男、岡部繁男、藤本豊士（以上、常務理事）、石村和敬、井関尚一、井出吉信、伊藤恒敏、大野伸一、坂井建雄、菅沼龍夫、仙波恵美子、竹内義喜、辰巳治之（以上、理事）、渡辺雅彦（監事）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、川村知子（以上、口腔保健協会）

欠席者：澤田 元、塩田浩平（以上、理事）、山田仁三（監事）

I. 理事長挨拶

参集した理事に対する謝意にはじまり、解剖学会は様々な懸案事項を抱えている。これを乗り越えるためにも理事各位の協力が必要であるとし、最後に第 1 1 3 回総会・全国学術集会を企画・運営頂いている藤倉会頭に謝意を表して、挨拶を閉じた。

II. 議事録署名人の選任

議事録署名人として仙波、竹内両理事を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

III. 会議記録の確認

2007(平成 19)年度第 5 回理事会記録、同摘録、同議事録（案）

IV. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

（1）年会費納入状況（長期未納者の除名について）

年会費納入状況の報告があった。なお、4 年未納者については第 113 回全国学術集会の会場に掲示の後、未納であった場合には除名手続きをとることが報告された。

（2）ホルマリン規制について（この項は坂井理事よりの報告）

平成 20 年 3 月 1 日より施行・適用されることになった特定化学物質障害予防規則（ホルムアルデヒドもその対象に含まれている）について、厚生労働省発行のパンフレットをもとに説明がおこなわれた。

（3）近畿支部理事補充選挙

内山理事が 4 月 1 日付で関東に転任することになったため、規程により後任を選挙により補充する必要ができたこと、選挙は近畿支部の評議員により 4 月中に実施予定であること、また企画・渉外担当理事は岡部庶務担当理事が兼務することが報告された。

（4）公益法人ワーキンググループの設置

公益法人制度改革の概要の説明、およびこの改革に対処するため、年森清隆千葉大学教授を委員長とするワーキンググループを設置することが報告された。

（5）名簿掲載教育施設について

平成 20 年度発行予定の名簿に掲載する機関名の選択については支部長にリストを送って

検討して頂いたことが報告された。

2. 編集報告（藤本編集担当理事）

（1）解剖学雑誌及びA S I 刊行報告

両誌の 83 巻 1 号が 3 月 4 日に予定通り発送されたことが報告された。

（2）解剖学雑誌について

編集方針は原則として依頼原稿により構成し、ニュースレターとして運用すること（以上については前回理事会で承認済）、現行からの移行期間については編集委員会で決定することが報告された。また、予算逼迫の中で、解剖学雑誌の発行費用の占める割合が相対的に大きいので、その圧縮方法について現在検討中であることも合わせて報告された。

（2）A S I 入札について

科研費研究成果公開促進費の獲得には必要な ASI 誌の刊行業務に関する入札の執行手順について報告がおこなわれた。

3. 企画・渉外報告（内山企画・渉外担当理事）

（1）第 113 回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告

標記総会・全国学術集会の準備が滞りなくおこなわれている旨の報告があった。

（2）平成 20 年度奨励賞選考委員会について

標記選考委員会の委員構成について報告がおこなわれた。

4. 会計報告（牛木会計担当理事）

（1）その他

平成 20 年度の決算が完了し、それに対する監査も 3 月 13 日に無事済んだことが報告された。なおこれらの詳細に関しては審議事項の 2. で審議がおこなわれた。

IV. 審議事項

1. 平成 19 年度事業および業務監査報告

資料をもとに、①学術集会開催状況、②会議開催状況、③学会誌の刊行状況、④委員会報告、⑤研究の奨励および業績の奨励、⑥内外学術団体との協力ならびに連絡、⑦技術士認定について報告がなされ、審議の結果、承認された。

2. 平成 19 年度決算および業務監査報告

資料をもとに標記の報告がおこなわれ、審議の結果、承認された。なお業務監査に関連して山田、渡辺両監事より平成 19 年度の赤字決算の最大要因は学会誌の発行費用が大きいこと、および会員数の減少である。財政再建にはこの 2 点を含めた問題点に対し早急に対策を打つ必要があるとする提言書が提出された。

3. 平成 20 年度予算および事業計画の件

資料をもとに説明がおこなわれ、審議の結果承認された。

4. 平成 20 年度総会・学術評議員会資料の確認

標記につき確認がおこなわれ、承認された。

5. 第 116 回総会・全国学術集会開催校について

東京で医学会総会のおこなわれる 2011 年の標記総会・全国学術集会の開催校について、順天堂大学とするとの提案がなされ、審議の結果承認された。

6. その他

追加発言として臨床教育のための新鮮遺体の解剖に関する発言があり、それに対しては慎重にすべきとの意見が多数出された。

上記の 2008 年度（平成 20 年度）第 1 回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2008 年（平成 20 年） 月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人